

2019年8月6日

各位

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
(コード番号：8729 東証第一部)

本日、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の100%子会社であるソニー生命保険株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせします。

記

ソニー生命保険株式会社 プレスリリース (添付)

中高生が思い描く将来についての意識調査2019

以上

【お問合せ先】

ソニー生命保険株式会社 広報部広報課 (TEL:03-5290-6228)

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／全国の中高校生 1,000 名(中学生 200 名・高校生 800 名)にアンケート

中高生が思い描く将来についての意識調査 2019

自身の将来のイメージ「10年後は明るい」中学生では57%、高校生では45%

中高生の“大人”に対するイメージ 高校生の94%が「疲れている」、89%が「大変そう」と回答

男子中学生が将来なりたい職業 2位「プロeスポーツプレイヤー」、1位は？

女子中学生が将来なりたい職業 2位「漫画家・アニメーター」、1位は？

ソニー生命では、中高生の意識と実態を明らかにするために、今回で2回目となる「中高生が思い描く将来についての意識調査」を行いましたので、お知らせいたします。

■ POINT 1 【中高生がイメージする将来】(P.2)

⇒自身の将来のイメージ「10年後は明るい」中学生では57%、高校生では45%

全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、自身の将来(1年後、3年後、10年後)について、明るい見通しをもっているか、不安を抱いているか聞きました。

中学生についてみると、『明るい(計)』(「明るい」と「どちらかといえば明るい」の合計、以下同様)は、【1年後の自分】では60.0%、【3年後の自分】では54.5%、【10年後の自分】では57.0%となりました。高校生についてみると、『明るい(計)』は、【1年後の自分】では52.9%、【3年後の自分】では48.3%、【10年後の自分】では45.1%となりました。

■ POINT 2 【中高生がイメージする大人】(P.6)

⇒中高生の“大人”に対するイメージ 高校生の94%が「疲れている」、89%が「大変そう」と回答

全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、いまの“大人”に対する対照的な2つのイメージを提示し、それぞれどちらに近いかが聞きました。

高校生についてみると、「大変そう」と「楽そう」では『大変そう(計)』(89.3%)、「疲れている」と「元気」では『疲れている(計)』(93.6%)、「楽しくなさそう」と「楽しそう」では『楽しくなさそう(計)』(68.5%)、「甘い」と「厳しい」では『厳しい(計)』(59.9%)、「暗い」と「明るい」では『暗い(計)』(61.8%)、「尊敬できない」と「尊敬できる」では『尊敬できない(計)』(53.6%)が、それぞれ多数派となりました。高校生には“大人は楽しくなさそう”など、ネガティブなイメージを持っている人が多いことがうかがえます。

■ POINT 3 【中高生の将来の夢】(P.11)

⇒男子中学生が将来なりたい職業 2位「プロeスポーツプレイヤー」、1位は？

女子中学生が将来なりたい職業 2位「漫画家・アニメーター」、1位は？

全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、将来なりたい職業を聞きました。

中学生についてみると、男子中学生では1位「YouTuberなどの動画投稿者」(30.0%)、2位「プロeスポーツプレイヤー」(23.0%)、3位「ゲームクリエイター」(19.0%)、4位「ITエンジニア・プログラマー」(16.0%)、5位「社長などの会社経営者・起業家」(14.0%)となりました。男子中学生にはYouTuberが人気の職業となっているようです。

女子中学生では1位「歌手・俳優・声優などの芸能人」(18.0%)、2位「絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)」(16.0%)、3位「医師」(14.0%)、4位「公務員」「看護師」(いずれも12.0%)となりました。アイドルや声優など、芸能界に憧れる女子中学生は多いようです。

◆エコノミストのコメント◆

ソニーフィナンシャル
ホールディングス株式会社
金融市場調査部
シニアエコノミスト
渡辺 浩志



今回は全国の中高校生に対して、将来の夢や希望を調査しています。ただ、一括りに中高生と言っても、中学生と高校生ではだいぶ考え方が異なるようです。気になったのは、自分の将来(10年後)を明るいと感じた中学生が57.0%であったのに対して高校生は45.1%にとどまったことです(図1)。また、いまの“大人”は楽しくなさそうと答えたのは中学生で57.5%でしたが、高校生では68.5%にも上りました(図5、6)。高校生の回答は、自分の将来だけでなく、大人への見方もどこか斜に構えた感じがします。

将来なりたい職業(図12、13)も中学生と高校生で大きく異なっています。男子中学生の第一位は「YouTuber」、二位は「プロeスポーツプレイヤー」、女子中学生の第一位は「芸能人」、第二位は「絵を描く職業」と、まさに夢いっぱい。一方、これが高校生になると、男子では「ITエンジニア」「会社経営者・起業家」、女子では「公務員」「看護師」と、急に現実味を帯びてきます。

12歳から17歳までの6年間は、思春期・反抗期を経て人間として最も大きく成長する時期です。回答全体の傾向を大雑把に言えば、中学生は夢と希望に溢れ、高校生は現実や不安と向き合っている感じがします。はじめにご紹介した高校生のちょっと辛口な答えも、彼らがいまの大人に失望しているということではなく、彼ら自身が子どもから大人へと成長している証しと見ればよいのではないのでしょうか。

それにしても、中高生の将来の夢(図11)はピュアでかわいいです。こちらは中学生・高校生どちらにも共通しており、「好きなことを仕事にする」「素敵な相手と恋愛・結婚する」「あたたかい家庭を築く」「安定した毎日を送る」だそうです。彼らの夢が叶い、幸せな大人になれるよう、いまのうちくらいはしっかりサポートしてあげたいですね。

NEWS LETTER (調査レポート)

中高生が思い描く将来についての意識調査 2019

このたび、ソニー生命保険株式会社(代表取締役社長 萩本 友男)は、2019年6月25日~7月2日の8日間、全国の中学生・高校生(中高生)に対し、今回で2回目となる「中高生が思い描く将来についての意識調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名(中学生200名、高校生800名)の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

【中高生がイメージする将来】

自身の将来のイメージ「10年後は明るい」 中学生では57%、高校生では45%
日本の将来のイメージ「10年後は明るい」 高校生では26%、楽観視する高校生が減少傾向
「自分の10年後を具体的に考えている」中学生は18%、2017年調査結果から8ポイント下降

【中高生がイメージする大人】

中高生の“大人”に対するイメージ 高校生の94%が「疲れている」、89%が「大変そう」と回答
いまの大人は「楽しそう」「明るい」「尊敬できる」とポジティブな印象を抱く中高生が増加傾向
中高生がカッコいいと思う大人のイメージは？ 1位「好きなことに打ち込んでいる」
女子中高生は「マナーがしっかりしている」大人にカッコよさを感じる傾向

【中高生がイメージする幸せ】

中高生が“幸せ”だと思うのは？ 「安定した仕事」VS「好きな仕事」では「好きな仕事」が多数派
「結婚」VS「自由な時間やお金」では中学生は「結婚」、高校生は「自由な時間やお金」が幸せと意識

【中高生の将来の夢】

男子中学生が夢見る将来は？ 1位「お金持ちになる」
女子中学生が夢見る将来は？ 1位「好きなことを仕事にする」
男子中学生が将来になりたい職業 2位「プロeスポーツプレイヤー」、1位は？
女子中学生が将来になりたい職業 2位「漫画家・アニメーター」、1位は？
男子高校生が将来になりたい職業 1位「ITエンジニア・プログラマー」
「会社経営者・起業家」が急上昇、ランキングTOP10圏外から2位に
女子高校生が将来になりたい職業 TOP2は「公務員」「看護師」
30歳時点の目標年収のイメージ 中学生は平均854万円、高校生は平均761万円
30歳時点の目標貯蓄額のイメージ 中学生は平均1,075万円、高校生は平均921万円

【中高生のマネーリテラシー】

「金融のしくみ」を学んだ経験がある中学生は33%、高校生では48%

【中高生の“いま”】

中高生が“いま、すぐに欲しいもの” 3位「学力・頭脳」、2位「時間」、1位は？
中高生が“いま、頑張っていること” 1位「勉強」 中学生では「推し事」「恋愛」が4位に

【中高生が選ぶ有名人・キャラクター】

中高生が好きなYouTuber TOP3は「はじめしゃちょーさん」「HIKAKINさん」「東海オンエア」
中高生が“学校の先生になってほしい”と思う有名人 2位「菅田将暉さん」、1位は？
中高生が“将来、こういう大人になりたい”と思う有名人
男子では「HIKAKINさん」、女子では「明石家さんまさん」が1位に
中高生が“こんな生き方をしたい”と思うアニメ・漫画のキャラクター 1位「モンキー・D・ルフィ」

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

【中高生がイメージする将来】

◆自身の将来のイメージ「10年後は明るい」中学生では57%、高校生では45%

◆日本の将来のイメージ「10年後は明るい」高校生では26%、楽観視する高校生が減少傾向

はじめに、全国の中高生1,000名(中学生200名、高校生800名)(全回答者)に、自身の将来(1年後、3年後、10年後)について、明るい見通しをもっているか、不安を抱いているか聞きました。

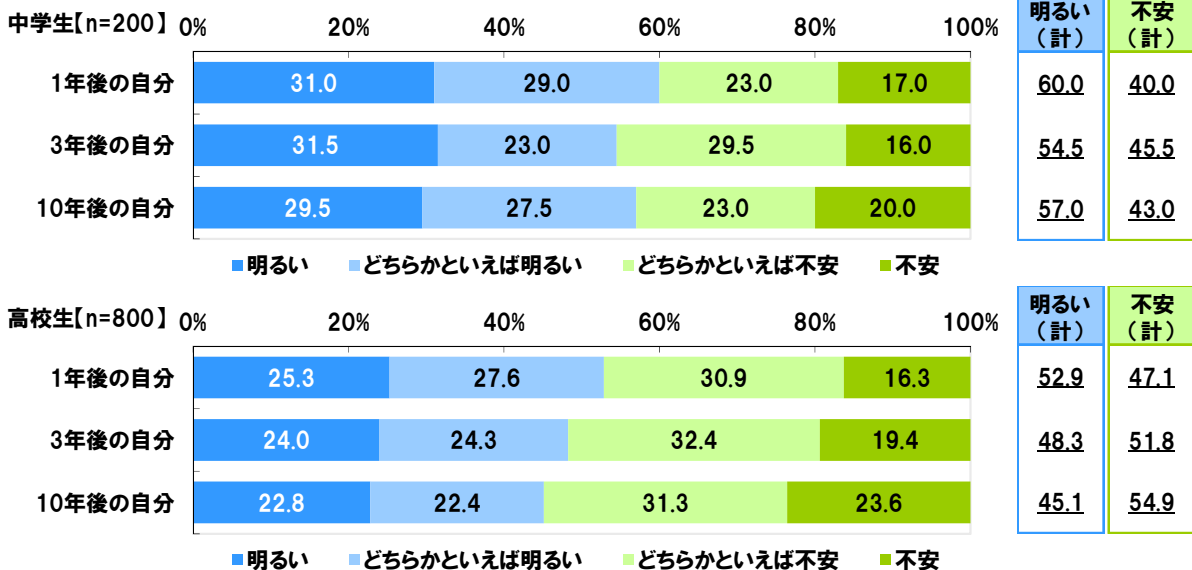
中学生についてみると、『明るい(計)』(「明るい」と「どちらかといえば明るい」の合計、以下同様)は、【1年後の自分】では60.0%、【3年後の自分】では54.5%、【10年後の自分】では57.0%となりました。

高校生についてみると、『明るい(計)』は、【1年後の自分】では52.9%、【3年後の自分】では48.3%、【10年後の自分】では45.1%となりました。

中学生、高校生ともに、自身の1年後に対しては明るい見通しをもっている人が多数派でしたが、3年後と10年後については意識の違いがみられ、中学生では明るい見通しをもてるという人が多数派となっているのに対し、高校生では明るい見通しをもてるという人は少数派という結果でした。(図1)

(図1)

◆自身の将来について、明るい見通しをもっているか、不安を抱いているか [各単一回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

次に、全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、10 年後の日本や世界に対して、どのような見通しをもっているか聞きました。

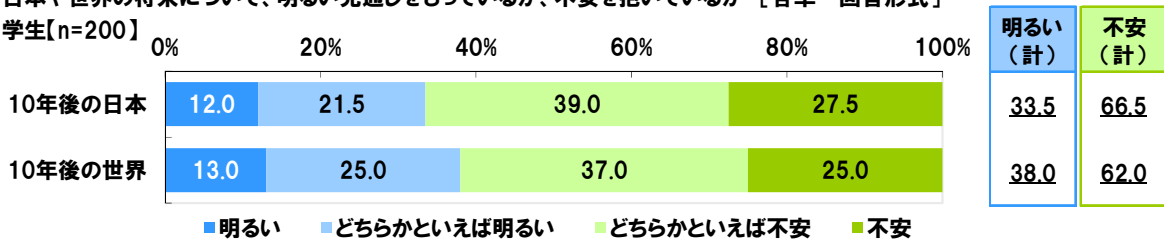
中学生についてみると、『明るい(計)』は、【10 年後の日本】では 33.5%、【10 年後の世界】では 38.0%となりました。10 年後の日本や世界に対して明るい見通しをもてる人は少数派のようです。

高校生についてみると、『明るい(計)』は、【10 年後の日本】では 26.4%、【10 年後の世界】では 29.4%と、いずれも中学生の回答より低い割合となりました。(図 2)

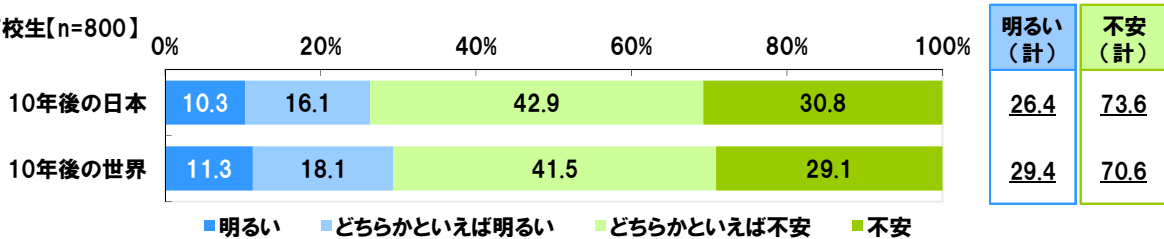
(図 2)

◆日本や世界の将来について、明るい見通しをもっているか、不安を抱いているか [各単一回答形式]

中学生[n=200]



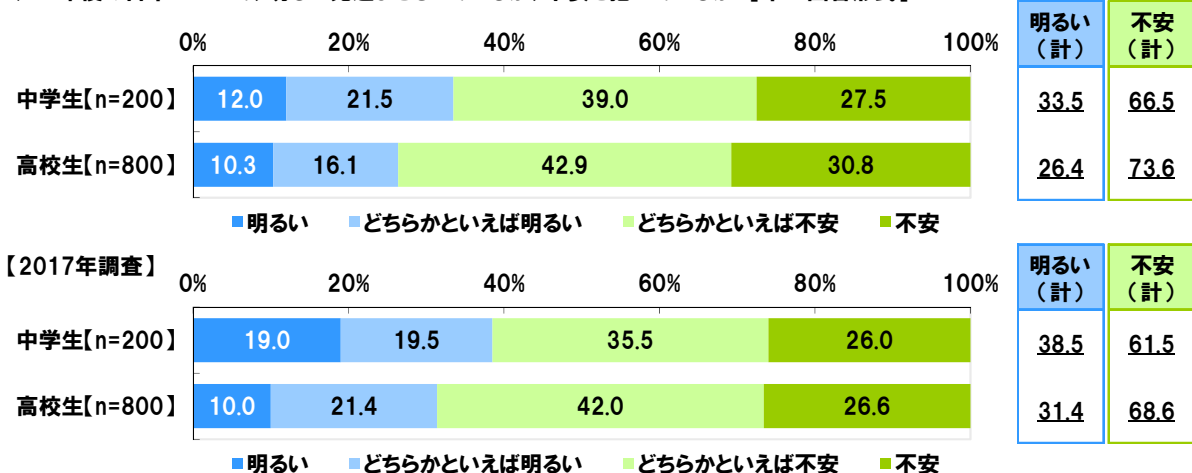
高校生[n=800]



ここで、【10 年後の日本】の見通しについて、『明るい(計)』と回答した人の割合を 2017 年の調査結果と比較すると、中学生では 2017 年 38.5%→2019 年 33.5%、高校生では 2017 年 31.4%→2019 年 26.4%と、いずれも 5.0 ポイント下降しました。10 年後の日本に明るい見通しをもてるという中高生は減っているようです。(図 3)

(図 3) 経年調査

◆10年後の日本について、明るい見通しをもっているか、不安を抱いているか [単一回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

◆「自分の10年後を具体的に考えている」中学生は18%、2017年調査結果から8ポイント下降

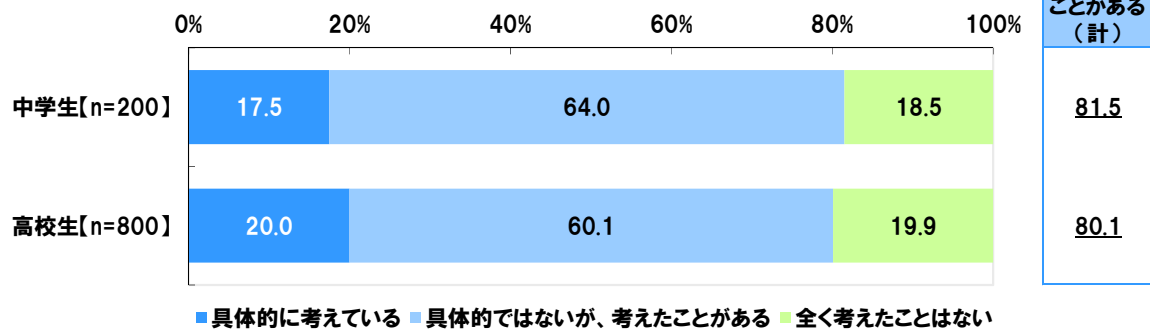
では、中高生は、自身の将来について、具体的なイメージをもっているのでしょうか。

全回答者(中学生200名、高校生800名)に、自分の10年後を具体的に考えているか聞いたところ、中学生では「具体的に考えている」が17.5%、「具体的ではないが、考えたことがある」が64.0%となり、合計した『考えたことがある(計)』は81.5%でした。また、高校生では「具体的に考えている」が20.0%、「具体的ではないが、考えたことがある」が60.1%となり、合計した『考えたことがある(計)』は80.1%でした。中学生、高校生ともに、具体的に考えている人は少ないものの、漠然とイメージしたことがある人は多いようです。

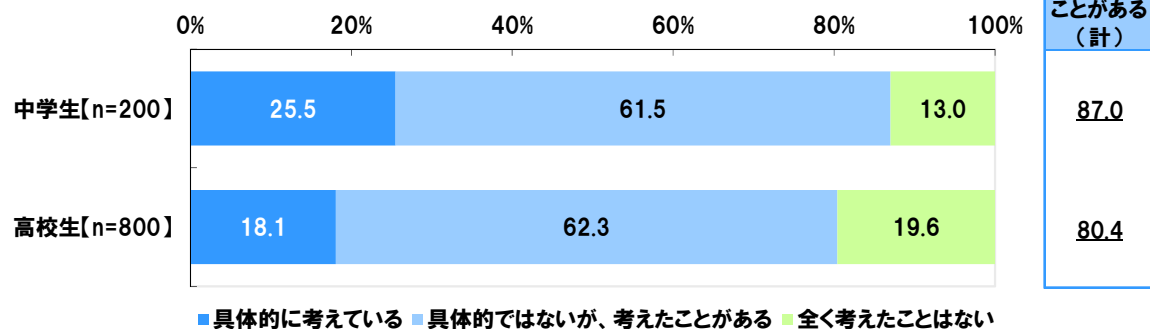
2017年の調査結果と比較すると、「具体的に考えている」と回答した人の割合は、中学生では2017年25.5%→2019年17.5%と、8.0ポイント下降しました。(図4)

(図4) 経年調査

◆自分の10年後を具体的に考えているか [単一回答形式]



【2017年調査】



NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生がイメージする大人】

◆中高生の“大人”に対するイメージ 高校生の94%が「疲れている」、89%が「大変そう」と回答

◆いまの大人は「楽しそう」「明るい」「尊敬できる」とポジティブな印象を抱く中高生が増加傾向

中高生は、“大人”に対して、どのようなイメージを抱いているのでしょうか。

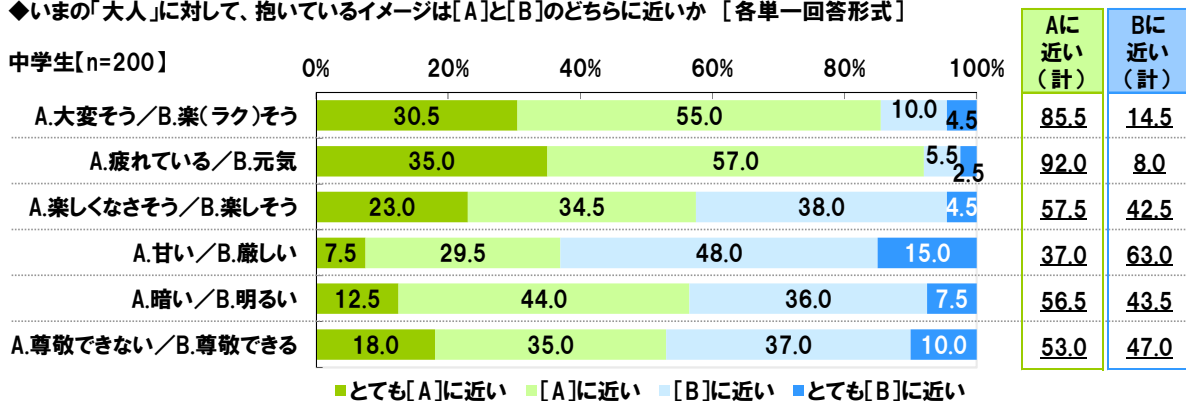
まず、全回答者(中学生 200名、高校生 800名)に、いまの“大人”に対する対照的な2つのイメージを提示し、それぞれどちらに近いか聞きました。

中学生についてみると、「大変そう」と「楽(ラク)そう」では『大変そう(計)』(85.5%)、「疲れている」と「元気」では『疲れている(計)』(92.0%)、「楽しくなさそう」と「楽しそう」では『楽しくなさそう(計)』(57.5%)、「甘い」と「厳しい」では『厳しい(計)』(63.0%)、「暗い」と「明るい」では『暗い(計)』(56.5%)、「尊敬できない」と「尊敬できる」では『尊敬できない(計)』(53.0%)が、それぞれ多数派となりました。

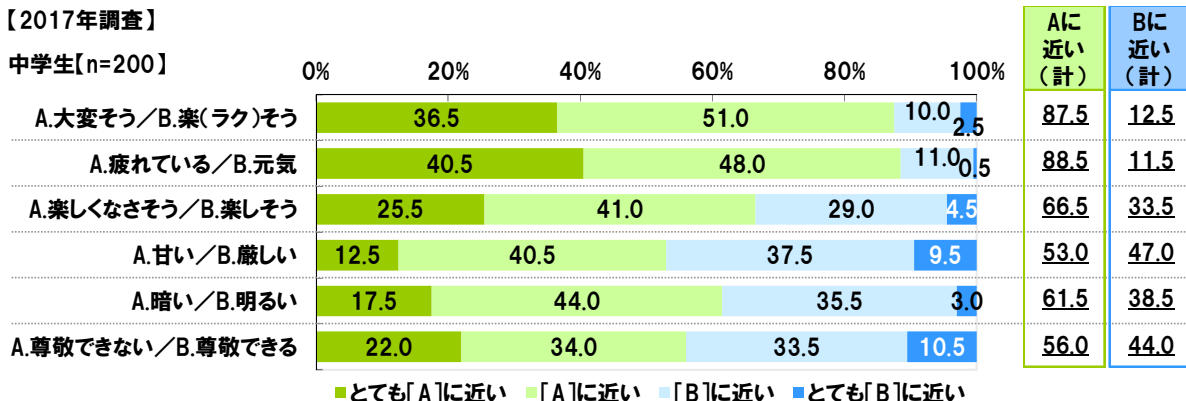
2017年の調査結果と比較すると、『楽しそう(計)』は9.0ポイント上昇(2017年33.5%→2019年42.5%)、『明るい(計)』は5.0ポイント上昇(2017年38.5%→2019年43.5%)、『尊敬できる(計)』は3.0ポイント上昇(2017年44.0%→2019年47.0%)しました。(図5)

(図5) 経年調査

◆いまの「大人」に対して、抱いているイメージは[A]と[B]のどちらに近いか [各単一回答形式]



【2017年調査】



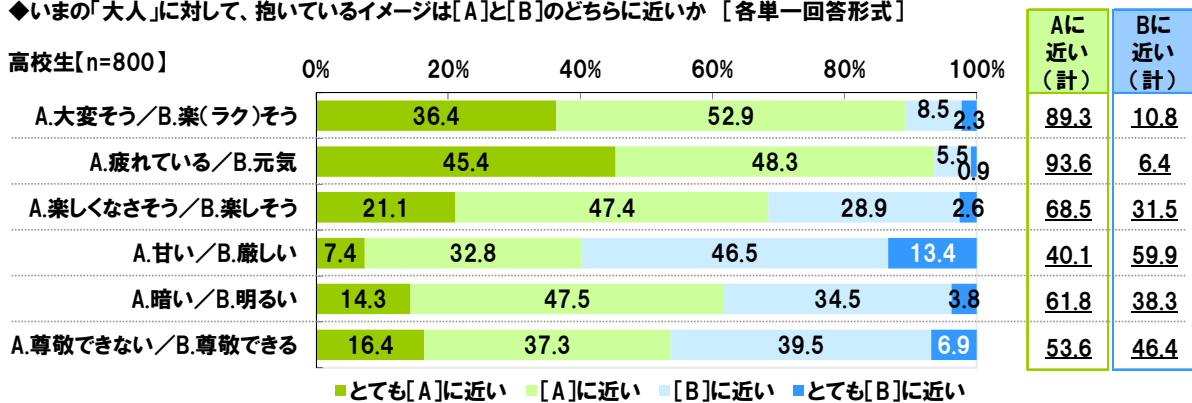
NEWS LETTER (調査レポート)

高校生についてみると、「大変そう」と「楽しそう」では『大変そう(計)』(89.3%)、「疲れている」と「元気」では『疲れている(計)』(93.6%)、「楽しくなさそう」と「楽しそう」では『楽しくなさそう(計)』(68.5%)、「甘い」と「厳しい」では『厳しい(計)』(59.9%)、「暗い」と「明るい」では『暗い(計)』(61.8%)、「尊敬できない」と「尊敬できる」では『尊敬できない(計)』(53.6%)が、それぞれ多数派となりました。多くの項目で中学生の結果より高い割合となり、特に『楽しくなさそう(計)』は中学生 57.5%、高校生 68.5%と、高校生のほうが11.0ポイント高くなりました。高校生には“大人は楽しくなさそう”など、ネガティブなイメージを持っている人が多いことがうかがえます。

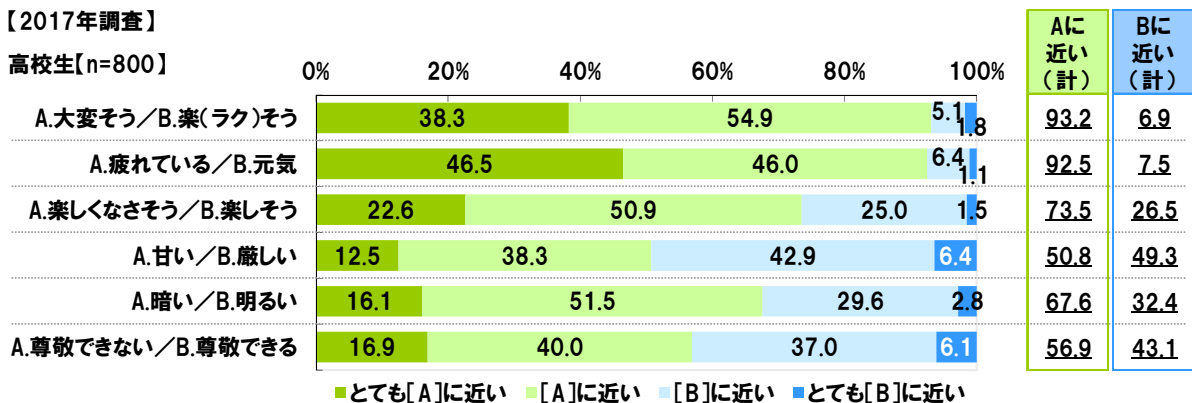
2017年の調査結果と比較すると、『楽しそう(計)』は5.0ポイント上昇(2017年26.5%→2019年31.5%)、『明るい(計)』は5.9ポイント上昇(2017年32.4%→2019年38.3%)、『尊敬できる(計)』は3.3ポイント上昇(2017年43.1%→2019年46.4%)しました。(図6)

(図6) 経年調査

◆いまの「大人」に対して、抱いているイメージは[A]と[B]のどちらに近いか [各単一回答形式]



【2017年調査】



NEWS LETTER (調査レポート)

◆中高校生がカッコいいと思う大人のイメージは？ 1位「好きなことに打ち込んでいる」

女子中高生は「マナーがしっかりしている」大人にカッコよさを感じる傾向

次に、全回答者(中学生200名、高校生800名)に、どのような大人をカッコいいと思うか聞いたところ、中学生では「好きなことに打ち込んでいる」(57.5%)が最も高く、次いで、「マナーがしっかりしている」(57.0%)、「面白い・ユーモアがある」(56.5%)、「おしゃべり・トーク上手」(49.5%)となりました。

男女別にみると、「マナーがしっかりしている」(男子中学生47.0%、女子中学生67.0%)や「自分に自信をもっている」(男子中学生28.0%、女子中学生50.0%)は女子のほうが20ポイント以上高くなりました。女子は男子以上に、マナーをわきまえた態度や自信にあふれる姿を大人のカッコよさの基準と考えているようです。

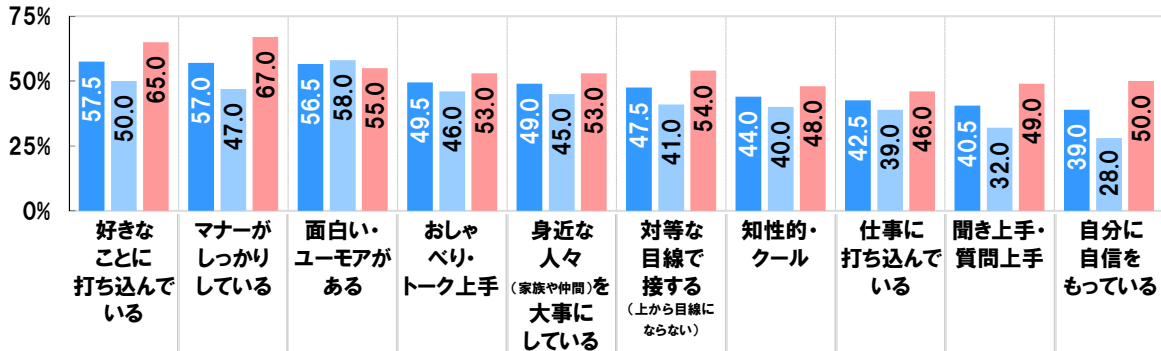
高校生では「好きなことに打ち込んでいる」(56.3%)が最も高く、次いで、「マナーがしっかりしている」(51.4%)、「面白い・ユーモアがある」(49.9%)、「身近な人々(家族や仲間)を大事にしている」(45.9%)となりました。

男女別にみると、「マナーがしっかりしている」(男子高校生42.8%、女子高校生60.0%)や「身近な人々(家族や仲間)を大事にしている」(男子高校生37.0%、女子高校生54.8%)は女子のほうが15ポイント以上高くなりました。女子高校生には、マナーのよさや身近な人々への態度に、カッコよさを感じる人が多いことがわかる結果となりました。(図7)

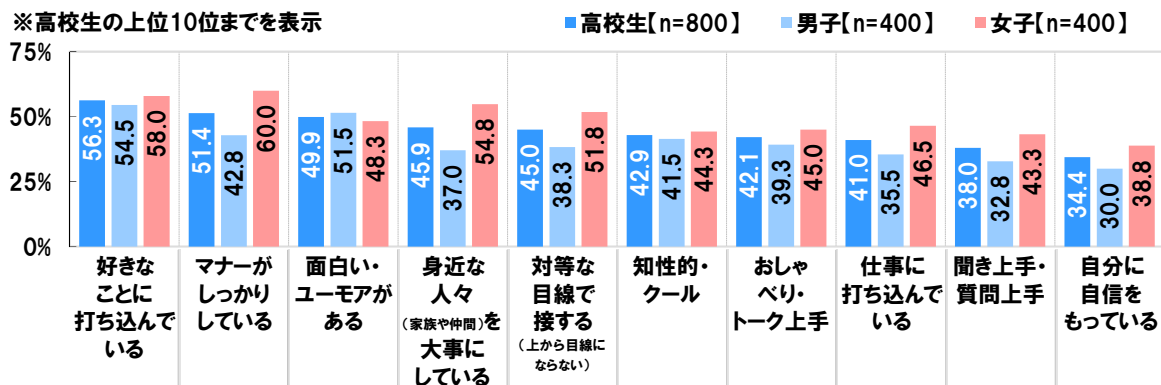
(図7)

◆「カッコいい大人」のイメージ [複数回答形式]

※中学生の上位10位までを表示



※高校生の上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生がイメージする幸せ】

- ◆中高生が“幸せ”だと思うのは？「安定した仕事」VS「好きな仕事」では「好きな仕事」が多数派
- ◆「結婚」VS「自由な時間やお金」では中学生は「結婚」、高校生は「自由な時間やお金」が幸せと意識

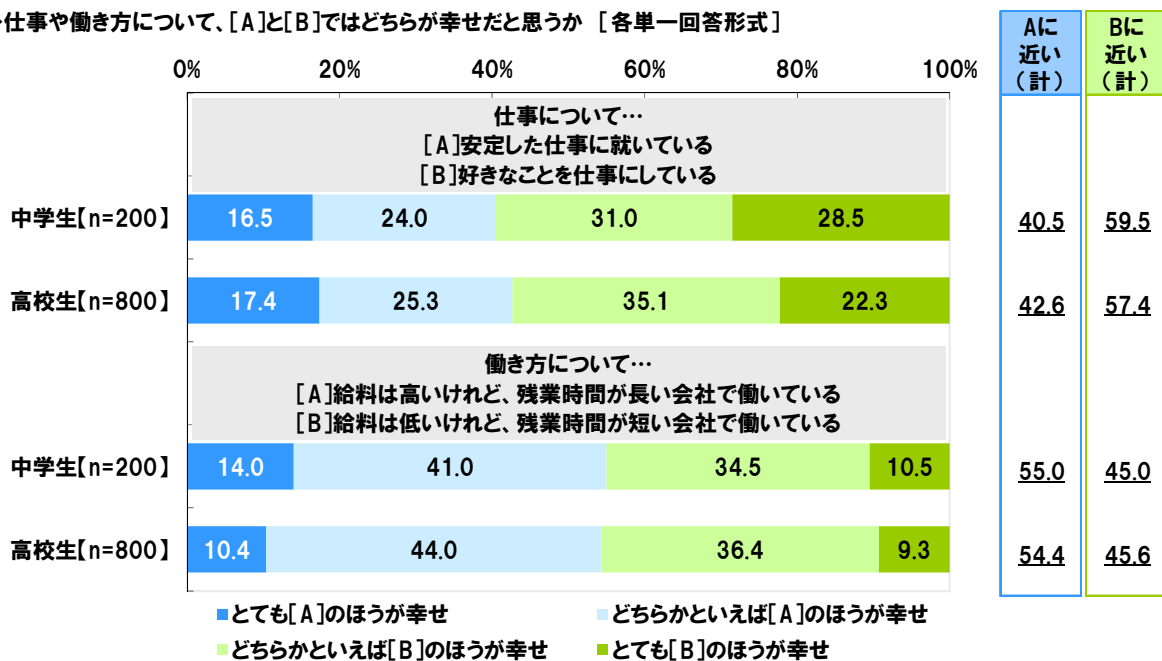
中高生の価値観を探るために、全回答者(中学生200名、高校生800名)に、“幸せ”について2つの例を提示し、それぞれどちらに近いか聞きました。

まず、仕事や働き方に関して、「安定した仕事に就いている」と「好きなことを仕事にしている」のどちらが幸せだと思うか聞いたところ、中学生、高校生とも『好きなことを仕事にしている(計)』(中学生59.5%、高校生57.4%)が多数派でした。

「給料は高いけれど、残業時間が長い会社で働いている」と「給料は低いけれど、残業時間が短い会社で働いている」では、中学生、高校生とも『給料は高いけれど、残業時間が長い会社で働いている(計)』(中学生55.0%、高校生54.4%)が半数以上となりました。(図8)

(図8)

◆仕事や働き方について、[A]と[B]ではどちらが幸せだと思うか [各単一回答形式]



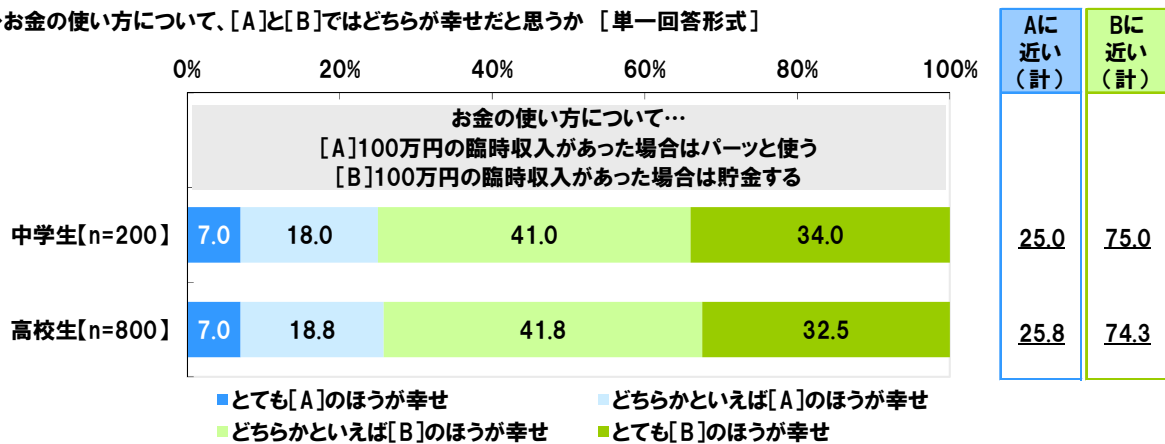
お金の使い方に関して、「100万円の臨時収入があった場合はパーッと使う」と「100万円の臨時収入があった場合は貯金する」では、中学生、高校生とも『100万円の臨時収入があった場合は貯金する(計)』(中学生75.0%、高校生74.3%)が多数を占めました。(図9)

好きな仕事をするもののほか、高い収入を得ることやしっかりと貯金することなど堅実な生活を送ることが幸せだと感じる中高生が多いようです。

NEWS LETTER (調査レポート)

(図 9)

◆お金の使い方について、[A]と[B]ではどちらが幸せだと思うか [単一回答形式]

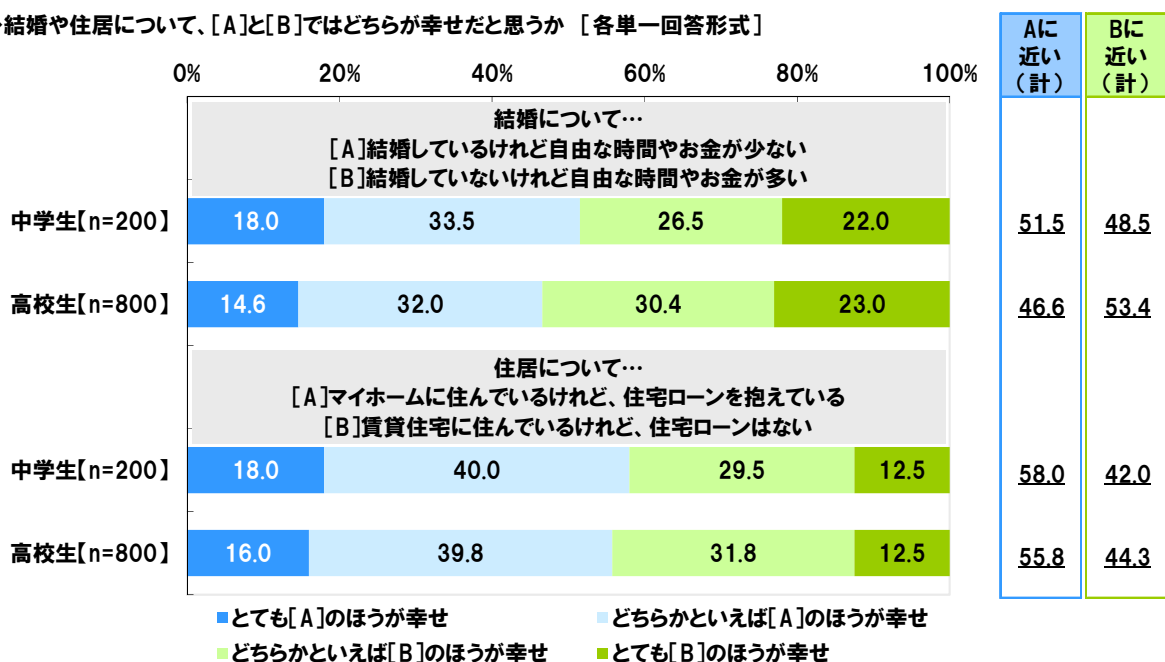


また、結婚や住居に関して、「結婚しているけれど自由な時間やお金が少ない」と「結婚していないけれど自由な時間やお金が多い」のどちらが幸せだと思うか聞いたところ、中学生では『結婚しているけれど自由な時間やお金が少ない(計)』(51.5%)が多数派となりました。一方、高校生では『結婚していないけれど自由な時間やお金が多い(計)』(53.4%)が多数派となりました。結婚に関しては、中学生と高校生で、意識がやや異なっているようです。

「マイホームに住んでいるけれど、住宅ローンを抱えている」と「賃貸住宅に住んでいるけれど、住宅ローンはない」では、中学生、高校生とも『マイホームに住んでいるけれど、住宅ローンを抱えている(計)』が半数以上となりました(中学生 58.0%、高校生 55.8%)。(図 10)

(図 10)

◆結婚や住居について、[A]と[B]ではどちらが幸せだと思うか [各単一回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生の将来の夢】

◆男子中学生が夢見る将来は？ 1位「お金持ちになる」

◆女子中学生が夢見る将来は？ 1位「好きなことを仕事にする」

中高生は、自身の将来に対して、どのような夢を抱いているのでしょうか。

全回答者(中学生 200名、高校生 800名)に、将来の夢を聞いたところ、中学生では「好きなことを仕事にする」(49.0%)が最も高く、次いで、「素敵な相手と恋愛・結婚する」(48.5%)、「あたたかい家庭を築く」(47.5%)、「安定した毎日を送る」(44.5%)となりました。

男女別にみると、男子では1位「お金持ちになる」(43.0%)、2位「素敵な相手と恋愛・結婚する」(40.0%)、3位「安定した毎日を送る」(39.0%)、女子では1位「好きなことを仕事にする」(63.0%)、2位「素敵な相手と恋愛・結婚する」「あたたかい家庭を築く」(いずれも57.0%)となりました。

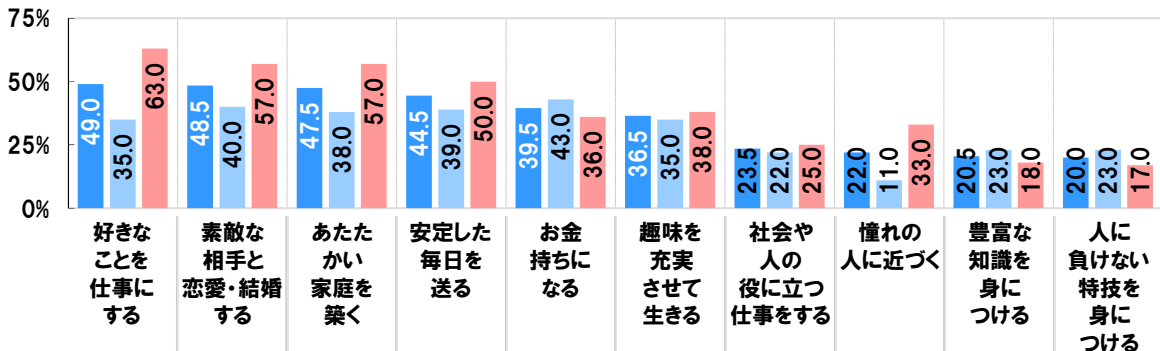
高校生では「好きなことを仕事にする」(47.4%)が最も高く、次いで、「安定した毎日を送る」(43.1%)、「あたたかい家庭を築く」(40.8%)、「素敵な相手と恋愛・結婚する」(40.6%)となりました。

男女別にみると、男子では1位「好きなことを仕事にする」(40.5%)、2位「安定した毎日を送る」(34.0%)、3位「お金持ちになる」(33.8%)、女子では1位「好きなことを仕事にする」(54.3%)、2位「安定した毎日を送る」(52.3%)、3位「あたたかい家庭を築く」(51.0%)となりました。(図11)

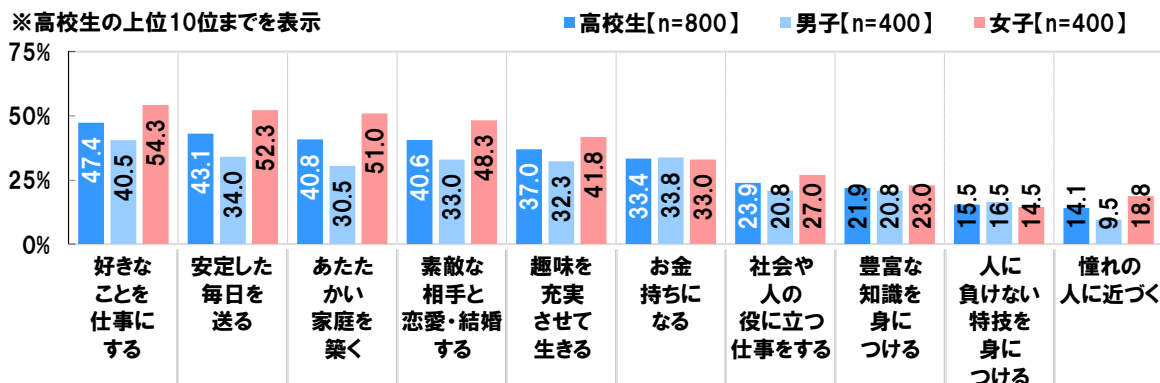
(図11)

◆将来の夢 [複数回答形式]

※中学生の上位10位までを表示



※高校生の上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆男子中学生が将来なりたい職業 2位「プロeスポーツプレイヤー」、1位は？
- ◆女子中学生が将来なりたい職業 2位「漫画家・アニメーター」、1位は？
- ◆男子高校生が将来なりたい職業 1位「ITエンジニア・プログラマー」
「会社経営者・起業家」が急上昇、ランキングTOP10圏外から2位に
- ◆女子高校生が将来なりたい職業 TOP2は「公務員」「看護師」

次に、全回答者(中学生 200名、高校生 800名)に、将来なりたい職業を聞きました。

中学生についてみると、男子中学生では1位「YouTuberなどの動画投稿者」(30.0%)、2位「プロeスポーツプレイヤー」(23.0%)、3位「ゲームクリエイター」(19.0%)、4位「ITエンジニア・プログラマー」(16.0%)、5位「社長などの会社経営者・起業家」(14.0%)となりました。男子中学生にはYouTuberが人気の職業となっているようです。

女子中学生では1位「歌手・俳優・声優などの芸能人」(18.0%)、2位「絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)」(16.0%)、3位「医師」(14.0%)、4位「公務員」「看護師」(いずれも12.0%)となりました。アイドルや声優など、芸能界に憧れる女子中学生は多いようです。

2017年の調査結果と比較すると、男子中学生では2017年の調査で7位だった「学者・研究者」や9位だった「教師・教員」「医師」、女子中学生では2017年の調査で6位だった「保育士・幼稚園教諭」は、2019年の調査では10位圏外となりました。中高生の中で、教育関係職や医師の人気の下がってきていることがうかがえる結果となりました。(図12)

(図12) 経年調査

◆将来なりたい職業 [複数回答形式(3つまで)] ※中学生の回答結果を表示

男子中学生(n=100)			女子中学生(n=100)		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	YouTuberなどの動画投稿者	30.0	1位	歌手・俳優・声優などの芸能人	18.0
2位	プロeスポーツプレイヤー	23.0	2位	絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)	16.0
3位	ゲームクリエイター	19.0	3位	医師	14.0
4位	ITエンジニア・プログラマー	16.0	4位	公務員	12.0
5位	社長などの会社経営者・起業家	14.0	5位	看護師	12.0
6位	公務員	9.0	6位	ショップ店員	11.0
7位	ものづくりエンジニア(自動車の設計や開発など)	9.0	7位	YouTuberなどの動画投稿者	10.0
8位	プロスポーツ選手	9.0	8位	文章を書く職業(作家・ライターなど)	9.0
9位	歌手・俳優・声優などの芸能人	8.0	9位	動物園や水族園の飼育員	8.0
10位	会社員	7.0	10位	教師・教員	7.0
				デザイナー(ファッション・インテリアなど)	7.0
				美容師	7.0

[2017年調査]

男子中学生(n=100)			女子中学生(n=100)		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	24.0	1位	歌手・俳優・声優などの芸能人	19.0
2位	ゲームクリエイター	20.0	2位	絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)	14.0
3位	YouTuberなどの動画投稿者	17.0	3位	医師	13.0
4位	プロスポーツ選手	16.0	4位	公務員	11.0
5位	ものづくりエンジニア(自動車の設計や開発など)	13.0	5位	文章を書く職業(作家・ライターなど)	10.0
6位	公務員	11.0	6位	保育士・幼稚園教諭	9.0
7位	学者・研究者	10.0	7位	教師・教員	8.0
8位	社長などの会社経営者・起業家	10.0	8位	ゲームクリエイター	8.0
9位	教師・教員	9.0	9位	デザイナー(ファッション・インテリアなど)	7.0
10位	医師	9.0	10位	YouTuberなどの動画投稿者	6.0
				マスコミ関係(記者・TV局スタッフなど)	6.0

NEWS LETTER (調査レポート)

高校生についてみると、男子高校生では1位「ITエンジニア・プログラマー」(20.8%)、2位「社長などの会社経営者・起業家」(16.8%)、3位「YouTuberなどの動画投稿者」(12.8%)、4位「ゲームクリエイター」(12.3%)、5位「ものづくりエンジニア(自動車の設計や開発など)」(11.3%)となりました。

女子高校生では1位「公務員」(15.0%)、2位「看護師」(11.0%)、3位「歌手・俳優・声優などの芸能人」(8.8%)、4位「カウンセラーや臨床心理士」(8.5%)、5位「会社員」(8.0%)となりました。

2017年の調査結果と比較すると、男子高校生では2017年の調査で10位圏外だった「社長などの会社経営者・起業家」が2位となりました。会社のトップである社長・起業家を目指したいと考える男子高校生が増えているのではないのでしょうか。(図13)

(図13) 経年調査

◆将来なりたい職業 [複数回答形式(3つまで)] ※高校生の回答結果を表示

男子高校生(n=400)			女子高校生(n=400)		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	20.8	1位	公務員	15.0
2位	社長などの会社経営者・起業家	16.8	2位	看護師	11.0
3位	YouTuberなどの動画投稿者	12.8	3位	歌手・俳優・声優などの芸能人	8.8
4位	ゲームクリエイター	12.3	4位	カウンセラーや臨床心理士	8.5
5位	ものづくりエンジニア(自動車の設計や開発など)	11.3	5位	会社員	8.0
6位	公務員	10.3	6位	教師・教員	7.8
7位	プロスポーツプレイヤー	9.3		保育士・幼稚園教諭	7.8
8位	教師・教員	7.3	8位	絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)	7.3
9位	会社員	6.8	9位	文章を書く職業(作家・ライターなど)	6.8
	学者・研究者	6.8		ショップ店員	6.8

【2017年調査】

男子高校生(n=400)			女子高校生(n=400)		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	20.8	1位	公務員	18.8
2位	ものづくりエンジニア(自動車の設計や開発など)	13.3	2位	看護師	12.8
3位	ゲームクリエイター	12.5	3位	歌手・俳優・声優などの芸能人	12.5
4位	公務員	11.8	4位	教師・教員	10.8
5位	学者・研究者	9.5	5位	絵を描く職業(漫画家・イラストレーター・アニメーター)	9.8
	運転手・パイロット	9.5	6位	保育士・幼稚園教諭	9.0
7位	教師・教員	7.8	7位	カウンセラーや臨床心理士	8.5
	会社員	7.8	8位	デザイナー(ファッション・インテリアなど)	7.5
9位	プロスポーツ選手	7.3	9位	学者・研究者	5.8
10位	YouTuberなどの動画投稿者	6.8		会社員	5.8

NEWS LETTER (調査レポート)

◆30歳時点の目標年収のイメージ 中学生は平均 854万円、高校生は平均 761万円

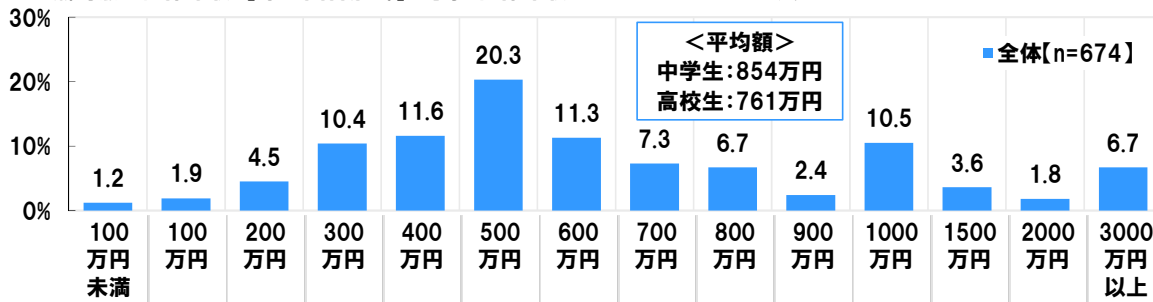
◆30歳時点の目標貯蓄額のイメージ 中学生は平均 1,075万円、高校生は平均 921万円

中高生は、将来のお金について、どのような目標や理想をもっているのでしょうか。

まず、30歳時点の目標年収を聞きました。目標年収のイメージをもっている人(674名)の回答をみると、中学生の平均額は854万円、高校生の平均額は761万円でした。(図14)

(図14)

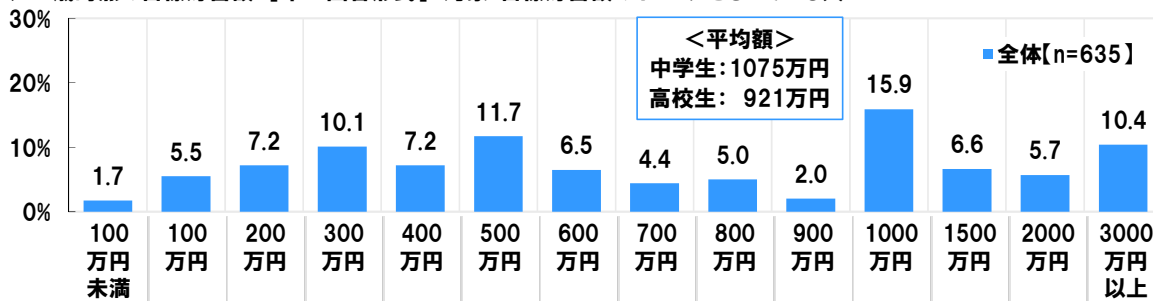
◆30歳時点の目標年収 [単一回答形式] 対象:目標年収のイメージをもっている人



次に、30歳時点の目標貯蓄額を聞きました。目標貯蓄額のイメージをもっている人(635名)の回答をみると、中学生の平均額は1,075万円、高校生の平均額は921万円でした。(図15)

(図15)

◆30歳時点の目標貯蓄額 [単一回答形式] 対象:目標貯蓄額のイメージをもっている人

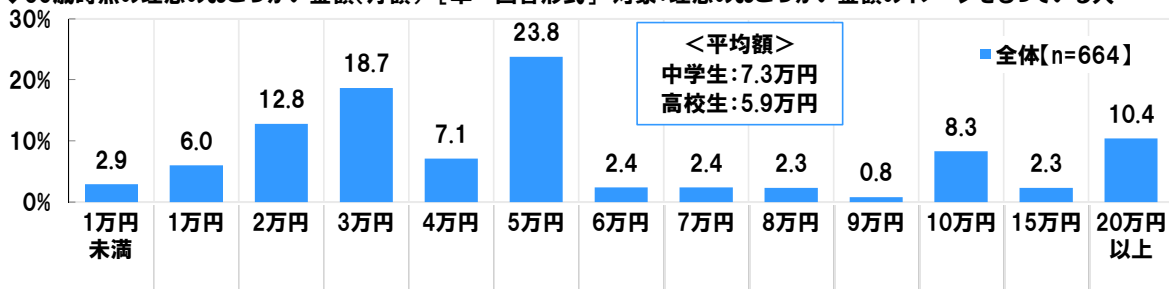


また、30歳時点の理想のおこづかい金額(月額)を聞きました。理想のおこづかい金額のイメージをもっている人(664名)の回答をみると、中学生の平均額は7.3万円、高校生の平均額は5.9万円でした。

(図16)

(図16)

◆30歳時点の理想のおこづかい金額(月額) [単一回答形式] 対象:理想のおこづかい金額のイメージをもっている人



NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生のマネーリテラシー】

◆「金融のしくみ」を学んだ経験がある中学生は33%、高校生では48%

将来のお金について具体的な計画を立てるためには、お金に関する知識を身につけることが大切です。中高生は、お金についてどのような教育を受けているのでしょうか。

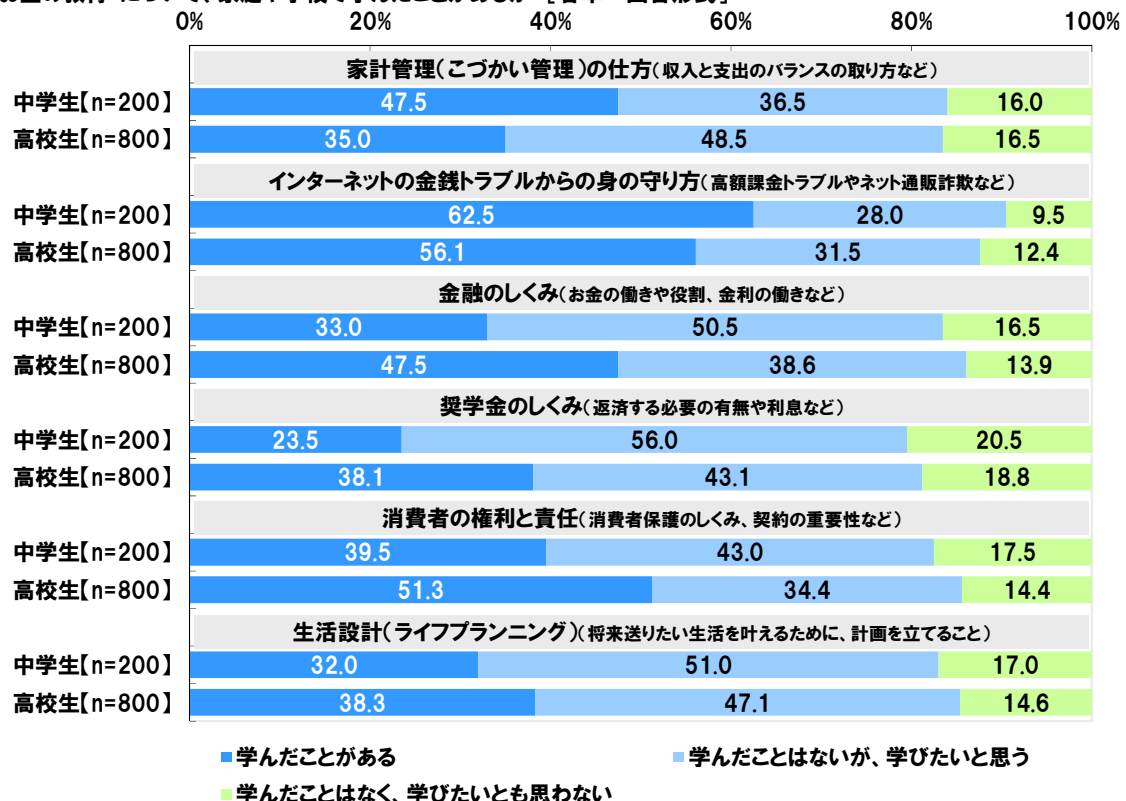
全回答者(中学生200名、高校生800名)に、家庭や学校で学んだことがある“お金の教育”の内容について聞きました。

「学んだことがある」と回答した人の割合をみると、中学生では【家計管理(こづかい管理)の仕方】47.5%、【インターネットの金銭トラブルからの身の守り方】62.5%、【金融のしくみ】33.0%、【奨学金のしくみ】23.5%、【消費者の権利と責任】39.5%、【生活設計(ライフプランニング)】32.0%となりました。インターネットの金銭トラブルからの身の守り方について学んだことがある中学生は半数以上でしたが、それ以外の項目では半数以下という結果でした。特に奨学金のしくみについては、学んだことがある人の割合が4人に1人となりました。

高校生では【家計管理(こづかい管理)の仕方】35.0%、【インターネットの金銭トラブルからの身の守り方】56.1%、【金融のしくみ】47.5%、【奨学金のしくみ】38.1%、【消費者の権利と責任】51.3%、【生活設計(ライフプランニング)】38.3%となりました。高校生の約半数が、インターネットを介した金銭トラブルからの身の守り方や消費者の権利と責任について学んだ経験があることがわかりました。(図17)

(図17)

◆“お金の教育”について、家庭や学校で学んだことがあるか [各単一回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生の“いま”】

◆中高生が“いま、すぐに欲しいもの” 3位「学力・頭脳」、2位「時間」、1位は？

◆中高生が“いま、頑張っていること” 1位「勉強」 中学生では「推し事」「恋愛」が4位に

全回答者(中学生 200名、高校生 800名)に、“いま、すぐに欲しいもの”を聞いたところ、「お金」がダントツ、2位「時間」、3位「学力・頭脳」、4位「パートナー・恋人」、5位「パソコン」となりました。

中学生では1位「お金」、2位「パートナー・恋人」、3位「スマートフォン」、4位「時間」、5位「パソコン」「好きな有名人のグッズ」となりました。中学生では、スマートフォンやパソコンといったIT機器を欲しいという人が少なくないようです。

高校生では1位「お金」、2位「学力・頭脳」「時間」、4位「パソコン」、5位「パートナー・恋人」となりました。高校生には、テストや受験を乗り越えるための学力や頭脳を手に入れたいと願う人が多いようです。

(図 18)

(図 18)

◆いま、すぐに欲しいもの [自由回答形式] ※上位5位までを表示

	全体(n=1000)	件数		中学生(n=200)	件数		高校生(n=800)	件数
1位	お金	340	1位	お金	71	1位	お金	269
2位	時間	53	2位	パートナー・恋人	12	2位	学力・頭脳	46
3位	学力・頭脳	51	3位	スマートフォン	8		時間	46
4位	パートナー・恋人	40	4位	時間	7	4位	パソコン	31
5位	パソコン	37	5位	パソコン	6	5位	パートナー・恋人	28
				好きな有名人のグッズ	6			

全回答者(中学生 200名、高校生 800名)に、“いま、頑張っていること”を聞いたところ、1位「勉強」、2位「部活動」、3位「スポーツ」、4位「アルバイト・お金を稼ぐこと」、5位「学校生活」となりました。勉強に部活動にと、日々頑張っている中高生の姿が垣間見られる結果となりました。

中学生では1位「勉強」、2位「スポーツ」、3位「部活動」、4位「学校生活」「推し事(アイドルなどの応援)」「恋愛」となりました。他方、高校生では1位「勉強」、2位「部活動」、3位「スポーツ」、4位「アルバイト・お金を稼ぐこと」、5位「検定・資格の取得」となりました。(図 19)

(図 19)

◆いま、頑張っていること [自由回答形式] ※上位5位までを表示

	全体(n=1000)	件数		中学生(n=200)	件数		高校生(n=800)	件数
1位	勉強	466	1位	勉強	94	1位	勉強	372
2位	部活動	98	2位	スポーツ	16	2位	部活動	83
3位	スポーツ	45	3位	部活動	15	3位	スポーツ	29
4位	アルバイト・お金を稼ぐこと	25		学校生活	4	4位	アルバイト・お金を稼ぐこと	23
5位	学校生活	18	4位	推し事(アイドルなどの応援)	4	5位	検定・資格の取得	16
				恋愛	4			

NEWS LETTER (調査レポート)

【中高生が選ぶ有名人・キャラクター】

◆中高生が好きな YouTuber TOP3 は「はじめしゃちょーさん」「HIKAKIN さん」「東海オンエア」

◆中高生が“学校の先生になってほしい”と思う有名人 2 位「菅田将暉さん」、1 位は？

全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、好きな YouTuber を聞いたところ、1 位「はじめしゃちょーさん」、2 位「HIKAKIN さん」、3 位「東海オンエア」、4 位「Fischer's-フィッシャーズ-」、5 位「水溜りポンド」となりました。

選んだ理由を聞いたところ、1 位のはじめしゃちょーさんについては「面白いし、カッコいいから」(女子高校生)や「自由な発想や行動力がすごいから」(男子高校生)といった理由が挙げられました。面白さや発想力に加え、ルックスのよさも魅力となっているようです。2 位の HIKAKIN さんについては「話がうまいから」(男子高校生)や「性格と笑顔が好き・素敵だから」(女子高校生)、3 位の東海オンエアについては「ひとりひとり個性があって面白いから」(女子高校生)などの回答がみられました。(図 20)

(図 20)

◆好きな YouTuber [自由回答形式]
 ※上位 10 位までを表示

	全体(n=1000)	件数
1位	はじめしゃちょー	66
2位	HIKAKIN	64
3位	東海オンエア	47
4位	Fischer's-フィッシャーズ-	31
5位	水溜りポンド	26
6位	はなお	20
7位	スカイピース	18
8位	QuizKnock	12
9位	さんごいち	11
10位	すとろベリーぶりんす	10

次に、“学校の先生になってほしい”と思う有名人を聞いたところ、1 位「林修さん」、2 位「菅田将暉さん」、3 位「櫻井翔さん」となりました。予備校講師である林修さんに続いて、ドラマでの先生役が記憶に新しい菅田将暉さんが 2 位となりました。(図 21)

(図 21)

◆“学校の先生になってほしい”と思う有名人
 [自由回答形式] ※上位 10 位までを表示

	全体(n=1000)	件数
1位	林修	39
2位	菅田将暉	28
3位	櫻井翔	24
4位	明石家さんま	22
5位	松岡修造	15
	池上彰	15
7位	マツコ・デラックス	13
8位	坂上忍	12
9位	ムロツヨシ	11
10位	伊沢拓司	10

NEWS LETTER (調査レポート)

◆中高校生が“将来、こういう大人になりたい”と思う有名人

男子では「HIKAKIN さん」、女子では「明石家さんまさん」が 1 位に

◆中高校生が“こんな生き方をしたい”と思うアニメ・漫画のキャラクター 1 位「モンキー・D・ルフィ」

全回答者(中学生 200 名、高校生 800 名)に、“将来、こういう大人になりたい”と思う有名人を聞いたところ、1 位「HIKAKIN さん」「明石家さんまさん」、3 位「イチローさん」「石原さとみさん」となりました。お笑い界の人気者である明石家さんまさんと並んで、YouTuber の代名詞的存在である HIKAKIN さんがトップとなりました。

男女別にみると、男子の回答では、1 位「HIKAKIN さん」、2 位「イチローさん」、3 位「松本人志さん」、女子の回答では、1 位「明石家さんまさん」、2 位「石原さとみさん」、3 位「新垣結衣さん」となりました。

(図 22)

(図 22)

◆“将来、こういう大人になりたい”と思う有名人

[自由回答形式] ※上位10位まで、男女別は上位5位までを表示

全体(n=1000)			男子(n=500)		
		件数			件数
1位	HIKAKIN	25	1位	HIKAKIN	20
	明石家さんま	25	2位	イチロー	12
3位	イチロー	15	3位	松本人志	9
	石原さとみ	15	4位	明石家さんま	8
5位	松本人志	11	5位	所ジョージ	7
	所ジョージ	9			
6位	新垣結衣	9	女子(n=500)		
	櫻井翔	9	1位	明石家さんま	17
9位	菅田将暉	8	2位	石原さとみ	15
	北川景子	8	3位	新垣結衣	9
			4位	土屋太鳳	7
				北川景子	7

最後に、“こんな生き方をしたい”と思うアニメ・漫画のキャラクターを聞いたところ、1 位「モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)」、2 位「ドラえもん(ドラえもん)」、3 位「野比のび太(ドラえもん)」、4 位「坂田銀時(銀魂)」、5 位「アンパンマン(それいけ!アンパンマン)」となりました。

選んだ理由を聞いたところ、1 位のモンキー・D・ルフィについては「自由に生きているから」(女子高校生)や「いつも仲間思いでまっすぐだから」(男子高校生)といった理由が挙げられました。2 位のドラえもんについては「便利な道具をたくさんもっているから」(男子高校生)や「人のために行動しているから」(男子高校生)、3 位の野比のび太については「マヌケだけどまっすぐで正直だから」(女子高校生)や「ドラえもんと楽しく過ごしているから」(男子中学生)などの回答がみられました。(図 23)

(図 23)

◆“こんな生き方をしたい”と思うアニメ・漫画のキャラクター

[自由回答形式] ※上位10位までを表示

	全体(n=1000)	件数
1位	モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)	62
2位	ドラえもん(ドラえもん)	50
3位	野比のび太(ドラえもん)	42
4位	坂田銀時(銀魂)	23
5位	アンパンマン(それいけ!アンパンマン)	20
6位	孫悟空(ドラゴンボール)	13
7位	日向翔陽(ハイキュー!!)	11
8位	江戸川コナン(名探偵コナン)	10
9位	緑谷出久(僕のヒーローアカデミア)	9
10位	うずまきナルト(NARUTO -ナルト-)	8
	さくらももこ(ちびまる子ちゃん)	8
	両津勘吉(こちら葛飾区亀有公園前派出所)	8

NEWS LETTER (調査レポート)

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても100%とならない場合がございます。

また、属性別集計において抜粋して表示している場合は、n数を合計しても全体と一致しない場合がございます。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 中高生が思い描く将来についての意識調査2019
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする全国の中高生
- ◆調査期間 : 2019年6月25日～7月2日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル(有効回答から中学生200s、高校生800sになるように抽出)
(内訳) サンプル数の内訳は以下のとおり
中学生200s(男子100s・女子100s) / 高校生800s(男子400s・女子400s)
- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社 広報部 広報課 井上、丸山、大金 電話番号 : 03-5290-6228

■■会社概要■■

- 会社名 : ソニー生命保険株式会社
- 代表者名 : 代表取締役社長 萩本 友男
- 設立 : 1979(昭和54)年8月
- 所在地 : 東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
- 業務内容 : 生命保険業